

家畜保健衛生所情報

令和6年5月28日

この時期発生するワクモへの対策について

暖かく過ごしやすい季節から気温も上がり、ワクモが発生しやすい時期になりました。厩間は金具の隙間等に隠れているため発見しづらく、気づけば大量発生していることも多いです。効果的な対策によりワクモの発生を抑え、被害の防止に取り組みましょう。



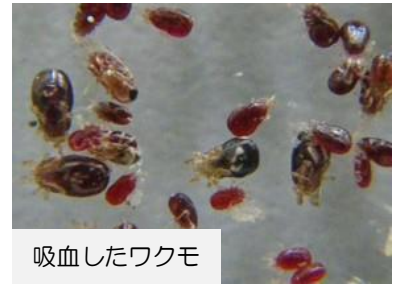
被害

- *吸血による貧血や死亡
- *ストレスによる産卵率低下
- *ワクチンに対する免疫応答の低下
- *汚卵

など



吸血による貧血



吸血したワクモ



ホコリ内に潜むワクモ



対策

除去
潜伏場所の

◎鶏舎の清掃



クモの巣・ホコリなどの除去（高温高圧洗浄が効果的）、鶏糞のこまめな搬出等により、ワクモが潜伏できない環境作りに努めましょう。

駆虫

◎計画的な薬剤（殺虫剤・成長阻害剤）の使用

同じ薬剤を使い続けると、薬剤に抵抗性を持つワクモを作り出してしまいます。ワクモ用に認められた動物用医薬品を用法・用量どおりに使用し、定期的に薬剤の種類を変えるなど注意して使用しましょう。



◎段ボール法（捕獲）

段ボールを波型の断面が見えるように切ってケージに設置すると、段ボール内にワクモが入り込みます。定期的な交換が必要です。

◎珪藻土の噴霧・浸漬

忌避

◎消石灰の散布・塗布



段ボール法

 大阪府家畜保健衛生所 〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1-59
 TEL 072-458-1151 FAX 072-458-1152
